



プレスリリース

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

ギュムリ市社会的脆弱層のための農業研修センター設立計画 供与式の実施

エレバン：令和7年5月29日

令和7年5月29日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ギュムリ市社会的脆弱層のための農業研修センター設立計画」（供与限度額：65,424米ドル）の供与式が、新設された農業研修センターにおいて開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、ティグラヌヒ・アコピャン・カリタス・アレガック基金代表、アヴェティス・アラケリャン・ギュムリ第一副市長が出席したほか、カリタス・アレガック基金およびアルメニア・カリタスの職員らが参加しました。

本事業は、シラク州ギュムリ市において農業研修センターを建設することにより、同地域の障害を抱える住民やナゴルノ・カラバフからの避難民等を対象に年間50人が農業研修を受講できるようにするものです。シラク州の平均世帯月収は約335米ドルと国内平均の半分程度にとどまり、失業率もアルメニア平均の2倍に迫る24%に上ります。特に、障害を抱える人の失業率は90%という深刻な状況にあります。そのため、本事業はバリアフリーな環境下で職業訓練を行い、社会的に弱い立場にある人々が農業技術を習得し、経済的自立を目指せるよう支援することを目的としています。

アコピャン・カリタス・アレガック基金代表は、「この地域では障害者や避難民の方々が農業を学ぶ機会がなかなかありませんでしたが、日本の支援で建てられた農業研修センターのおかげで、バリアフリー環境で実践的な職業訓練を受けられるようになりました。このセンターでは、農業研修を提供するだけでなく、研修後の雇用先となる農家を対象とした研修や、農家と研修生をつなぐためのワークショップも実施するなどし、研修生の雇用拡大もしっかりとフォローしていく予定です」と述べました。



アコピャン代表とテープカットする青木大使



新設された農業研修センター



アコピャン代表（左から二人目）ら
関係者との記念撮影



農業研修センター内観